

【参加者募集】

愛媛大学宇宙進化研究センター 講演会(オンライン)

「もうひとつの地球に生命を探すアストロバイオロジー」

日時: 令和4年10月15日(土) 14:00~15:30

会場: オンライン開催 Zoom ウェビナー(先着 500 人)

(パソコン、スマートフォン、タブレットなどを使用してください)

講師: 田村 元秀(東京大学大学院理学系研究科 教授/アストロバイオロジーセンター センター長)

概要:

この広い宇宙に、生命を育む「もうひとつの地球」はあるのでしょうか？
人類にとって最も根源的とも言えるこの問いに対して、ようやく科学的な答えが出せる時期が来ています。
アストロバイオロジーは、生命の起源や進化を地球上・地球外で研究する学問とされています。とりわけ近年の太陽系外惑星の研究の著しい発展に伴い、太陽系外の惑星に生命の兆候を探す試みが本格化しつつあります。

1995年の太陽型恒星のまわりの惑星の発見(2019年ノーベル物理学賞受賞)を契機として、既に約5000個もの太陽系外惑星が発見されています。その中には地球に似た環境を持つと思われる惑星も発見されつつあります。

例えば、トランプスト1と呼ばれる軽い恒星の周りには、7つもの地球サイズの惑星が存在します。また、太陽のすぐ隣の恒星であるプロキシマ・ケンタウリにも地球型惑星が発見されています。

つまり、望遠鏡という天文学の手段を用いることによって、太陽型恒星を周回する年齢46億年の地球という一つのサンプルの制限を超えて、さまざまな環境下においてさまざまな年齢のもうひとつの地球において生命を探査することができるのです。この無限とも言える宇宙におけるサンプルによって、初めて宇宙における生命の起源や進化についての議論できるでしょう。

本講演では、太陽系外惑星研究の最前線を紹介しつつ、生命兆候発見に至るまでのロードマップ案や、すばる望遠鏡の新装置の成果、本格的な稼働を開始したNASAジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡の意義も含め、天文学と生物学の結び付きについて紹介します。

参加申込方法等については、別紙チラシをご覧ください。



お問い合わせ先

愛媛大学宇宙進化研究センター(今崎、吉原)

電話:089-927-8430/メール:center@cosmos.ehime-u.ac.jp